

学校保健委員会だより

第1号
令和4年7月15日
長崎市立戸町中学校

7月11日に令和4年度第1回目の学校保健委員会を開催しました。

学校医：星子先生、学校薬剤師：松林先生と保護者14名、教員4名の計20名が参加し、今年度の健康診断の結果や体力テストの結果、今年度の保健関連行事予定などについて話し合いを行いました。参加された皆さん、ありがとうございました。内容を抜粋して紹介します。

令和4年度健康診断結果報告

		身長		体重	
		男子	女子	男子	女子
1年	本校	155.1	152.2	47.6	45.4
	県	152.1	151.3	44.6	44.1
	全国	154.3	152.6	45.8	44.5
2年	本校	158.7	154.1	50.0	50.8
	県	159.5	154.7	49.2	48.0
	全国	161.4	155.2	50.9	47.9
3年	本校	166.1	156.2	57.8	49.5
	県	164.9	155.9	54.0	51.1
	全国	166.1	156.7	55.2	50.2

【視力検査について】

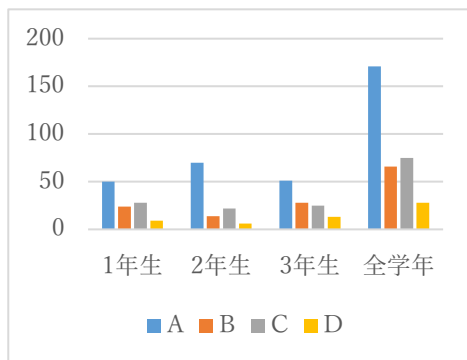
C以下の生徒が、矯正（眼鏡やコンタクト使用者）と裸眼を含め95名いました。めがねやコンタクトを使用しているにもかかわらず十分に見えていない状況があるため、早めの受診をお願いいたします。

【体位平均】

それぞれの平均値は長崎県や全国とほぼ同じ結果でした。

個別に受診や経過観察が必要な生徒は2学期にお知らせします。

全員の成長曲線を作成して、成長を見守っています。発育などに関して、何か気になることがある際はご連絡いただければと思います。



【歯科検診】

1年生の平均う歯本数は本校で1.2本でした。全国では0.68本（R2結果）だったので、平均よりやや多い傾向にあります。う歯がなくても、歯垢や歯肉がある生徒が多く見られました。また、う歯のある生徒は1人で多くのう歯があるという傾向にありました。CO（う歯への一手手前）、GO（歯肉炎への一手手前）はブラッシングで防ぐことができるため、歯磨きを習慣化できるように声かけをしていきたいと思えます。特に3年生は受験期に入る前に受診をして、しっかり治してほしいと思えます。

夏休み中にピカピカを目指そう！



保健室の利用状況について

昨年度よりも保健室利用の人数が減っています。家庭での健康観察や生徒自身の自己管理ができていたためだと考えます。しかし、体育大会前後の熱中症の体調不良者が多かったです。また4月・5月は新しい環境となったことで心理的な面で不安定になる生徒もいました。体育大会や部活動など、学校生活の中のけが（捻挫、骨折など）で、スポーツ振興センター災害共済の利用が7件ありました。

学校環境衛生検査結果について

照度検査は一番明るい1年2組、一番暗い理科室で測定しました。どちらも異常は見られませんでした。理科室・保健室の薬品管理も異常は見られませんでした。給食検査は、浅皿が新調され残渣が見受けにくくなりました。教室の空気検査は、計算上5分に1回換気が必要であることがわかりましたが、コロナ禍で常時換気しているため問題ないようです。

体力等の状況について

本校では、全体的に体力の低下がみられる。長崎市の課題として柔軟性がある生徒が少ない傾向にあります。学校の取り組みとして柔軟性を高めるにジャックナイフストレッチをしています。柔軟性が上がると、けがの予防にもつながるため、家でもストレッチなどを意識して行ってもらいたいです。また、食が細く体ができていない子もいます。ご飯を必要量食べる練習もしていく必要がありますので、ご家庭でも取り組んでみてください。

給食の状況について



全体的に残食量は少なくなってきました。クラスによっては毎日完食しているクラスもあります。現在コロナ禍のため黙食を行っています。感染者数や感染状況によって黙食の徹底・緩和を柔軟に対応していきます。



参加した保護者の方の感想

長崎市は遊ぶ場所が少ない。その環境も子ども達の体力低下につながっているのではないかと思います。部活は、スポーツ飲料は持参してよいことになっているが、各部活でも経口補水液(OS-1)の準備をしていただきたいです。

学校医、学校薬剤師の先生方より指導助言



◆学校医 星子先生より

世の中の風潮でマスクを外す動きになっている。マスクを外す場合は十分な距離(2m)をとる必要がある。戸町中学校区では、歩道等が狭く2m間隔をとれないことも多い。その場合、2mの距離がとれなくても話をしなかったらマスクを外してよい。食事時に1人でも感染者がいると一気に感染が広まるので注意が必要。コロナ対策も必要だが並行して熱中症対策(水分をとる、適宜休憩をする、朝食をしっかり食べる等)も行ってください。

◆学校薬剤師 松林先生より

熱中症になった場合の対応として経口補水液(OS-1)が一番効果がある。経口補水液は、点滴薬に似た成分が入っているので早期に回復することができます。経口補水液は保健室で管理されている様なので、常時保管するなどの工夫を今後も続けてください。



顧問の先生がいる場合、熱中症対策等柔軟に対応していただけている。しかし、外部のコーチのみの場合、水分補給のお伺いを立てなくてはならないことが多いため、自由に給水できる環境がほしいです。外部コーチにもお伝えいただけると助かります。